

-----1月31日-----

今週のアウトルック(1/31~2/4)

先週は後半、S&Pによる日本の長期ソブリン格付けの引き下げによって、大きくゆすぶられてしまった形となりました。一時的に大きく円売りが進んだものの、終わってみれば行って来いの形となり、大きな流れが変わる要因とはならなかったようです。

さて、今週ですが、後半に米国雇用統計の発表を控え、再び大きく揺すぶられる形となりそうです。雇用関係の数値はある程度改善が見込まれるものの、中長期的な改善には至っていないという見方も支配的で、目先の改善も織り込み済みとして処理されてしまう可能性もあります。ドル売リトレンドはもう少し進むのではないかと思います。

ドル円は、テクニカル的には82円のサポートを維持できるかがポイントとなりそうです。先週金曜日の状況を見てもドル売り勢力の強さがうかがえます。もう一段、81円あたりまでは、ドル安が進んでもおかしくないように思います。ただ、先々週のように、雇用関係の数値がサプライズ的に改善された場合には、一気に買い戻しも進みそうなので、雇用統計発表時には注意が必要のように思います。

ドル円の予想レンジは81円から83円です。

ユーロは、ユーロドルが1.37を超えたことで、一度利食い売りに押された感があります。ただ、チャートの的には日足でのトレンドラインを割り込んでおらず、今後、もう少し上昇トレンドを維持する可能性はあるように思います。

ユーロ円はドル売りの受け皿として、ユーロと円が時間帯によって変わっていく可能性があり、短いスパンでの動きは読みづらいかもしれません。

ユーロ円の予想レンジは111円から112.5円です。

ポンドの上昇トレンドもそろそろ一服感が出ているように思います。大きな材料が出なければ、レンジ的な動きに入る可能性が高いように思います。

ポンド円の予想レンジは130円から132円です。

今週はドル円は米国雇用統計の事前情報に、大きく振られることがたびたびありそうです。Stopの設定も難しいところです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。

